

常設展示	<p>16～18世紀当時の宮殿の機能性の再現をそのままに、四季ごとに展示替えを行ない、貴族の豊かな暮らし、美しいガラスの世界をご紹介します。</p>						
	<p>春の宮殿</p>  <p><家族の食堂></p>  <p><宮殿の応接間></p>		<p>夏の宮殿</p>  <p><貴族の食堂></p>  <p>『バラが彩る夏のテーブル』</p>		<p>秋の宮殿</p>  <p><宝の間></p>  <p>『収穫の秋を象徴するレモンのテーブル』</p>		<p>冬の宮殿</p>  <p><貴族の食堂></p>  <p>『カーニバルのテーブル』</p> <p>『天使が微笑むディナーテーブル』</p>
特別展	<p>2020年2月18日(火)～6月19日(金)</p> <p><VENINI展> —伝統とモダンデザインの融合—</p>  <p>「抱擁」 砂漠シリーズ 「カモメ」 砂漠シリーズ</p> <p>VENINI(ヴェネーニ)工房は1921年にムラノ島に設立され、伝統技術とモダンデザインの融合を目指し、建築やファッション業界など、様々な分野の著名なデザイナーと制作活動を共にしてきました。工房作品の歴史をご紹介します。色彩、技法、デザイナーなど様々な角度から注目して作品をご紹介します。新収蔵作品や世界限定生産作品などの貴重な作品も展示致します。</p>	<p>6月20日(土)～10月12日(月)</p> <p><ヴィットリオ・コスタンティニの世界> —ガラスの宝石 鳥・虫・魚が大集合！—</p>  <p>「クワガタ」 「魚をくわえたカワセミ」 「ラグーナの魚たち」</p> <p>長年に渡り、魚をはじめ昆虫や鳥などを題材とした生き物の制作に情熱を傾け、『神業』とも称される繊細でリアルな表現を極めてきたヴェネツィアのランプワーク作家、ヴィットリオ・コスタンティニ。世界で活躍するアーティストであるコスタンティニの作品収蔵数世界一を誇る、当館のコレクションを一堂にご紹介致します。</p>	<p>10月13日(火)～12月7日(月)</p> <p><レースガラス展> —貴族を魅了したヴェネツィアの至宝—</p>  <p>ジュリアーノ・バラリン 「フランチェスカ」 エリーテ・ムラノ工房 「噴水型 フルーツコンポート」 エリーテ・ムラノ工房 「カーネーションの飾り脚グラス」</p> <p>「レースガラス」は16世紀に最盛期を迎え、乳白色の色ガラスで表現したレースの細やかな模様と美しさで、ヨーロッパ中の貴族を虜にし、豪華な宮殿を彩る装飾品として大流行したと言われています。ヴェネツィアガラス最盛期の作品を忠実に再現できる数少ない工房であったエリーテ・ムラノ工房や、レースガラスの第一人者ジュリアーノ・バラリンの作品など、レースガラスの魅力を存分にご紹介致します。</p>	<p>12月8日(火)～2021年3月8日(月)</p> <p><ゴッホ モザイクガラス絵画展> —輝く 美しき無限の色彩—</p>  <p>「夜のカフェテラス」 「カラスの飛ぶ麦田」 「星月夜」</p> <p>当館の企画により、イタリア・ラヴェンナ市のモザイク専門工房が1993年から95年の3年もの歳月をかけて制作した、世界に類をみないコレクションです。色彩豊かなヴェネツィアガラスの何万個というガラス片が、ゴッホの大胆で力強いタッチを強調し、更なる迫力を与えています。原画の魅力と伝統的なモザイク技術の素晴らしさ、その融合をお楽しみ頂けます。</p>	<p>3月9日(火)～</p> <p><春の特別展> 「飾り脚グラス展」</p> <p>詳細が決定次第お知らせ致します。</p>		
	企画展	<p>5F企画展 <ガラスモザイク絵画展></p> <p>ゴッホの絵をモチーフに制作されたガラスモザイク絵画を展示します。すべて当館のオリジナル収蔵品で、イタリア・ラヴェンナ市の専門工房に依頼して制作致しました。年4回季節ごとに入れ替えし、全26点を順に展示致します。 ※12月8日～2021年3月8日は特別展として一堂にご紹介致します。</p> 					